



第5号

独立行政法人地域医療機能推進機構
滋賀病院附属介護老人保健施設
滋賀県大津市富士見台16-1
TEL(077)537-3102 FAX(077)537-3629

たんぽぽ

就任のご挨拶



院長施設長

来見 良誠

平成27年4月1日、長尾昌壽前院長
および滋賀医科大学学長塩田浩平先生の
ご推挙によりJCHO滋賀病院院長とし
て着任いたしました。平成27年3月3
1日、滋賀医科大学総合外科学講座教授
・国立病院機構東近江総合医療センター
副院長を退職し、地域医療機能推進機構
として全国57病院が一九となつて地域
医療の充実を図る組織に魅力を感じJCH
HO滋賀病院にまいりました。

私は、昭和56年滋賀医科大学を卒業
し、滋賀医科大学第一外科で初期研修を
受け、昭和58年から2年間、岐阜歯科
大学（現・朝日大学）附属村上記念病院
に勤務し、昭和60年から約30年間、
滋賀医大に在籍していました。昭和62
年に第一外科助手、平成12年に第一外
科講師、平成17年に外科学講座（消化
器外科）准教授、平成23年に総合外科
学講座教授となり、外科・消化器外科・
内視鏡外科の教育・研究・診療につとめ

て参りました。専門分野は消化器外
科で、特に肝胆膵外科・内視鏡外科
を専門としています。また救急部に
も2年間の勤務経験があり、さらに
病院の移転を3回、電子カルテの導
入を4回経験しています。これまで
の自分自身の35年間を振り返りま
すと、10年ごとに節目があったよ
うに思います。最初の10年は外科
医としてのスキルアップの10年、
次の10年は肝移植の研究と内視鏡
外科に熱中した10年、その次の1
0年は開放型MRIを用いた研究と
産学連携を模索した10年、そして
最後の10年間として現在は地域医
療に取り組んでいます。

平成23年4月より、滋賀医科大
学で地域医療支援を目的とした総合
外科学講座を主宰し、国立病院機構
滋賀病院（現・東近江総合医療セン
ター）の副院長を兼務いたしました。
東近江地域は、都市部から離れた遠
隔地型地域医療のシステム構築が必
要な地域でした。着任時には220
床の病院でしたが、2病棟を閉鎖し
120床で運営していました。この
ときの稼働率は6割くらいで病棟で
は空床が目立ち、救急車搬入台数は
4日に1台程度にまでなっていま
した。行き過ぎた診療科の細分化が、

医師の地域偏在化と診療科偏在化に
つながり、地域医療の衰退を招いた
ものと考えます。国・滋賀県・東近
江市・滋賀医科大学・国立病院機構
のバックアップのもとに診療科の総
合化をはかり、その結果320床を
有する国立病院機構東近江総合医療
センターとして再生することができ
ました。“東近江地域の地域医療の充
実”を私のライフワークとして10
年間の計画を立てていましたが、4
年間で当初の計画を上回る成果を得
ることができました。ちょうどその
時期に、JCHO滋賀病院の話をい
ただき、都市型の地域医療を推進す
ることを知り、異動することを決断
いたしました。

都市型の地域医療は遠隔地型の地域
医療とまったく異なります。500
床を超える医療機関が立ち並ぶ中で、
300床の病院が地域に貢献できる
ためには、①専門診療を徹底的に追
及する近隣の医療機関で実施してい
ない領域の診療を行うことと、②近
隣の医療機関が病床不足により実施
できない専門診療を行うことである、
と考えています。言い換えれば、機
能補完型・容量補充型の医療が要求
されています。さらに急性期医療に
対する前方支援と後方支援が必要に

なります。前方支援・後方支援にそれぞれ特化した医療機関は民間で運営されていますが、両方を兼ね備えた医療機関は見当たりません。JCHO滋賀病院は病床数325床、検診センター、老健施設を有した医療機関で、機能補完・容量補充に適した病院であり、時間軸・空間軸ともに最適の医療機関といえます。

社会保険滋賀病院の時代から国民の健康を支援する病院としての精神を堅持し、地域に貢献してきた当院は、JCHOグループの一員としてさらに地域医療に積極的に取り組むことになりました。地域医療の充実のために「つなぐ」という言葉をキーワードにしたいと思っています。「患者さんと地域をつなぐ」、「患者さんと診療所をつなぐ」、「診療所と病院をつなぐ」、「内科・外科などの診療科をつなぐ」、「病院内での職種間をつなぐ」、「病院と病院をつなぐ」、など様々な状況で「つなぐ」という言葉が当てはまってきました。漢字で書く「繋ぐ」ではなく、心のつながりを大切にすることを「つなぐ」を使いたいと思います。

目先のことにのみにとらわれず、近未来の医療情勢を考慮した診療体制を構築し、地域に貢献できても地域に誇れる医療機関となれるように努力し、職員をはじめ当院に関連する方々の満足度の高い病院にしたいと思っています。

伝統ある滋賀病院をさらに発展させるために尽力いたしますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

新年会

平成二十七年一月七日水曜日午後、レクリエーションルームにて新年会が開催されました。

琴ボランティエグループの「湖風会」の7名様がお越し下さり、琴の演奏を披露されました。流麗な琴の音色とともに、見た目にも鮮やかで華麗な演奏を見せていただき、楽しい一時を過ごす事ができました。

曲目は「日本のわらべ唄」（お江戸日本橋、とおりやんせ、てまりうた、山寺の和尚さん）から始まり、一月一日、ふるさと、ここに幸あり、北国の春、長良川演歌、さくらと7曲聞かせていただきました。よく馴染みのある曲ばかりなので、皆さん口ずさみながら楽しい雰囲気でした。「湖風会」の皆様ありがとうございました。



井上 正広



一月お誕生日会

一月のお誕生日会はシルバーアンサンブルのみなさまが来て下さいました。

馴染みのある曲ばかりで、口ずさんでいる方や手拍子をして楽しんでおられる方が多くみうけられました。目の前で色々な楽器の演奏を聞かせていただくことはなかなかありませんので、利用者様はもちろん、職員も楽しませていただいています。一年の始まりにシルバーアンサンブルのみなさまの素敵な音色を聴き、今年も利用者の皆様が一年素敵な年になりますようにとお願いをしました。

シルバーアンサンブルの皆様をはじめ、ボランティアの皆様には毎年楽しませていただき感謝しております。どうぞ今年もよろしく願います。

利用者の皆様、今年一年も元気で過ごしましょうね！！



寺田 有紀

三月お誕生日会

桜の蕾がほころび始めた3月のお誕生日をおむかえになられる方は2階8名・3階5名と13名おられました。

一番上のお歳は98歳、若い方でも63歳と幅広い年齢層の方のお祝いが出来ました。そんな誕生日会に花を添えに来て下さったのは、富士見ハーモニー憧れ様です。

唄声はレクルームの中に響き渡り高音と低音のハモリが素敵で聞いている利用者様だけでなく、スタッフ一同も心を奪われました。

選曲も利用者の皆様が知っている曲ばかりで懐かしそうに、そして楽しそうに口ずさんでおられました。普段中々施設利用者様皆さんが揃って歌を歌う、聞くという事が出来ないので、行事としてではあります。またこうして楽しんでいただけていたら幸いです。またこうして楽しい時間が過ごせる日を楽しみに1年1年を過ごしていきたいと思います。



檜垣 奈美



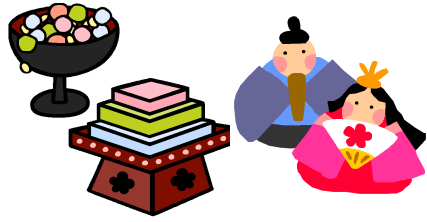
ひな祭り



平成二十七年三月四日（水）にひな祭りが開催され、聖愛幼稚園の園児の皆様が来て下さいました。登場と共に利用者様の顔が笑顔でいっぱいになっていました。元気な挨拶をしてくれた園児の皆様は、もうすぐ1年生になれる園児さんで、お歌も元氣いっぱい発表してくださいました。可愛い振り付けもあり、利用者様もお孫さんを思い出されたのではないのでしょうか。

園児の皆様、4月にはランドセルを背負って、勉強もお友達作りも頑張って、楽しく過ごして下さいね。

利用者の皆様、少しずつ春になり、暖かくなってきました。体調に気を付けて、桜のきせつを迎えましょう！



寺田 有紀



今後の行事予定

- 四月二十日 お花見（ドライブ）
- 四月十五日（水）お誕生日会
- 五月十三日（水）お誕生日会
- 六月三日（水）お茶会
- 六月十日（水）お誕生日会

どうぞお楽しみに

利用者の状況

（1日平均）

入所	
1月	96.6人
2月	94.8人
3月	89.8人
通所	
1月	25.2人
2月	26.4人
3月	27.6人

